

# 令和2年度 さいたま市立岸町小学校 自己評価書

校長 笠原 実 印

## 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 一人ひとりのよさを大切にした教育活動の展開
- (2) 分かりやすい授業の充実
- (3) あいさつが得意な学校
- (4) 体力の向上

## 2 評価結果について

- (1) 一人ひとりのよさを大切にした教育活動の展開

教職員が子どもをよく見、よく話を聴いたり、特別活動の実践を通して所属感や自己有用感を育んだりすることができるように教育活動を展開してきた。その結果、学校評価アンケート「先生たちは、相談にのってくれます」について、児童 90.1%、保護者 86%の肯定的回答を得ることができた。また、「学校は楽しいです」については、児童 86.7%、保護者 93.2%の肯定的回答を得ることができた。

- (2) 分かりやすい授業の充実

具体的なものやことを指導に生かしたり、ICTの活用を推進したりすることで、教師の授業力向上を図ってきた。また、一人1公開授業も行ってきた。学校評価アンケート「授業は、分かりやすいです」では、児童 92.3%、保護者 94.6%の肯定的回答を得ることができた。また『よい授業』アンケート【因子④】児童生徒の活動では、前回市平均を0.3ポイント上回ることができた。

- (3) あいさつが得意な学校

教職員から「あいさつに課題がある」という声がここ数年上がってきている。そこで、あいさつが得意な学校を目指して、教職員から率先してあいさつを行うことを共通理解・共通行動として実践してきた。その結果、児童 92.8%、保護者 91.7%から肯定的回答を得られた。しかし、教職員からは 64.2%の肯定的回答に留まっており、さらなる改善が必要である。

- (4) 体力の向上

本校の大きな課題の一つとして体力の向上が挙げられる。そこで今年度は体力の基礎となる「走力」の向上を重点課題として捉えてきた。しかし、新型コロナウイルスの影響により、外遊びや体育の時間を充実させることができなかつた。学校評価アンケート「元気に外遊びや運動をしています」について、児童 84.6%、保護者 78.8%の肯定的回答となった。これは他の項目よりも低い数値となっており、大きな課題である。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- 分かりやすい授業の充実についてさらに推進していく。『よい授業』アンケートでは、【因子①】【因子②】において課題が見られる。授業マネジメント・基礎アップの改善が図られるよう、『よい授業』の因子の各項目を意識した授業実践に取り組んでいく。児童一人に1台のタブレットの活用も積極的に推進する。
- あいさつは白幡中学校区3校の共通課題である。そこで来年度は3校で共通理解の基、あいさつの改善に取り組んでいる。児童会と生徒会が一緒になって行うあいさつ運動等の活動を充実させることで、改善を図っていく。
- 今年度は、新型コロナウイルスの影響により活動が制限された部分が多くあった。来年度は、今年度以上に工夫を凝らし、児童の体力の向上・運動習慣の確立が図られるように業間休み等のキャンペーンを充実させたり、体育の授業を充実させたりすることで、体力の向上を図っていく。